



センターの利用方法を掲載しています。

小学校英語と日本語教育と いま求められているこの二つに私たちは応えます。

新着情報 WHAT'S NEW

- 2.2 仙台市立桂小学校訪問① **NEW**
- 1.14 「留学体験記」更新
- 12.8 「リライト教材」講演会開催
- 12.8 富谷町立成田東小学校訪問①
- 12.7 「ユネスコスクール関連イベント」掲載
- 12.4 気仙沼市立鹿折小学校訪問②
- 12.4 気仙沼市立白山小学校訪問②
- 12.4 気仙沼市立浦島小学校訪問②

➔過去の情報はこちら

「小学校英語教育」「日本語教育」「国際理解教育」「留学相談」「基礎研究」詳細を掲載しています。

小学校での交流活動やセミナーを写真付で紹介しています。

【お問い合わせ】

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地
国立大学法人宮城教育大学国際理解教育研究センター
センター長室／事務室 TEL/FAX：022-214-3382
E-Mail：RCIUE@staff.miyakyo-u.ac.jp

➔ センターの概要
Outline of center

➔ 特色・活動内容・組織
Features, contents of activities and organization

➔ 利用方法と利用者登録
How to use the center and Registration of members

国際理解教育・小学校英語教育などで当大学の留学生・教員の派遣を希望される際は「利用方法と利用者登録」をご覧ください下記の書類をお送り下さい。
留学生・講師派遣「依頼書」
派遣後に提出頂く「記録書」

➔ 教育・研究分野
Education and fields of research

➔ スタッフ・施設
Staff and facilities

➔ 情報コーナー
Information corner

宮城国際理解教育推進連絡会議情報を掲載しています。

2009年度 講座・研究発表の様子
2009年度 小学校での国際理解活動の様子
留学希望者への情報
投稿規定

留学体験記

宮城国際理解教育
推進連絡会議のページ

日本語のページ

センターの概要

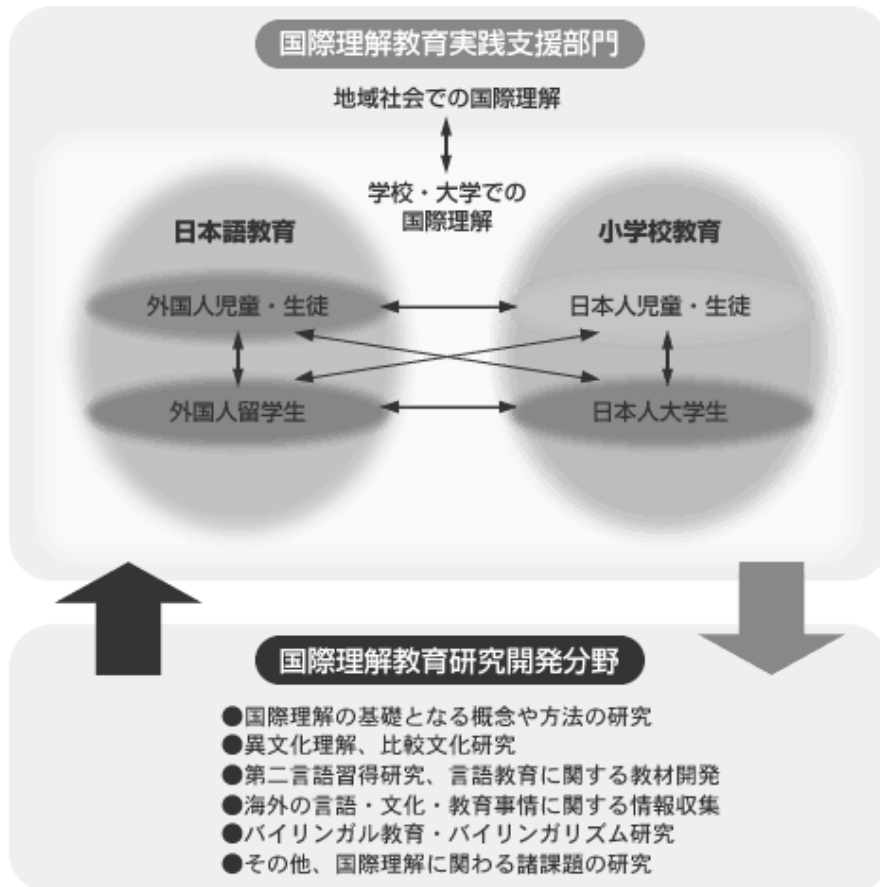
Outline of center



国際理解教育研究センターは、急速に進む国際化の時代、さまざまな文化を持った人々とどのように交流してくかが求められる時代にあって、対応を迫られる今日の学校現場や地域社会のニーズに的確に応えるため、以下のことを実践します。

1. 日本語教育と小学校英語教育を中心とした、国際理解に関わる研究と教育を行います。
2. 日本人児童生徒・外国人児童生徒・日本人大学生・外国人留学生、それぞれからなる国際理解に関する相互交流を積極的に推し進めていきます。
3. 小・中・高等学校などの学校現場と地域社会、大学の国際理解活動へ継続的な支援を行っていきます。

組織図



特色・活動内容・組織

Features, contents of activities and organization

【特色】

- (1) 助言・指導は具体的、個別的に日本人児童生徒への英語教育、外国人児童生徒への日本語教育、学校現場・地域社会の国際理解、多文化共生への取り組みを、それぞれ個別的・継続的に助言していきます
- (2) 学校と地域、大学の連携の上に学校と地域、大学が連携し、人的な交流を進めることによって、国際理解に関する意識の向上と問題解決に積極的に取り組みます。
- (3) 蓄積された研究と教育実践の成果を生かして培ってきた日本語教育、英語教育、国際理解教育、第二言語教育、留学生教育、比較文化研究などの成果を最大限に活用して進めていきます。

【活動内容】

- (1) 学校現場を対象に
 - ・ 小学校英語教育への支援
 - ・ 外国人児童生徒の日本語教育・教科教育への支援
 - ・ 国際理解教育活動への支援
 - ・ 小学校英語教育と中学校、高等学校英語教育の連携への支援
 - ・ 教材や情報の提供、プログラムの開発、教員の研修など
- (2) 地域社会を対象に
 - ・ 国際理解・多文化共生社会を推し進める地域社会の支援
 - ・ 地域定住外国人の日本語学習・日本文化理解への支援など
- (3) 大学を対象に
 - ・ 外国人留学生の日本語教育・日本文化理解の促進
 - ・ 日本人大学生に対する国際理解の促進、国際理解を進めていくためのスキルの養成など
- (4) 研究活動
 - ・ 日本語教育と小学校英語教育の実践研究
 - ・ 日本語教育と小学校英語のカリキュラム開発、教材研究
 - ・ 第二言語（日本語・英語）の習得に関する調査・研究
 - ・ バイリンガリズムに関する調査・研究
 - ・ 小学校英語教育と中学校・高等学校英語教育の連携に関する調査・研究
 - ・ 異文化間摩擦の原因、異文化理解の方法についての研究
 - ・ 国際理解に関する基礎的な概念や理念の研究
 - ・ 海外の国際理解教育事情に関する情報収集など

教育・研究分野

Education and fields of research

小学校英語



ほとんどの小学校で導入されながら、模索の途中にある小学校英語教育。現場からの声に応えるために、教材や情報の提供、プログラムの開発、教員の研修などを行っています。

外国人児童生徒の学習や生活の支援を行うサイト（MJEC）を紹介しています。

日本語教育



学校現場に外国籍の子どもたちを迎えることが多くなりました。学校に編入してから直面する様々な困難を克服するために、教員への情報提供や、学校文書の翻訳、ボランティア学生の派遣などいろいろな支援を行っています。

国際理解教育



学校や地域での国際理解教育を支援しています。留学生を中心とした国際理解教育では、留学生が学校現場や地域に出向いて、多国籍で継続的・発展的な国際理解になるような実践を続けています。日本人と外国人留学生相互の理解が深まることが期待されます。

留学相談



教員養成大学として、学校現場で国際理解を担う教員を育成するために、大学生の海外留学を促進しています。また海外から100名以上の留学生を受入れて、大学内の国際理解を促進しています。

留学生の学生生活や、当大学と提携を結んでいる海外の大学の情報が見られます。

基礎研究



支援や実践の裏づけとして、日本語教育と小学校英語の両方の基礎となる第二言語習得の研究、国際理解教育の基礎理念や方法の研究などを行っています。研究の成果は常に現場に還元していきたいと考えています。

研究情報を一覧にして掲載しています。

スタッフ・施設

Staff and facilities

スタッフ

◇教員（クリックすると各教員の HP へジャンプします）

藤田 博	センター長・教授
市瀬 智紀	准教授（専任）
高橋亜紀子	准教授（専任）
島森 哲男	教授（兼務）
田中 武雄	教授（兼務）
板垣 信哉	教授（兼務）
遠藤 仁	教授（兼務）
小金澤 孝昭	教授（兼務）
吉田 剛	准教授（兼務）
鈴木 渉	講師（兼務）
小澤 晃	附属小学校教諭
斎藤 聖子	附属中学校教諭

◇客員研究員

小野寺 由起	(利府町立菅谷台小学校教頭)
大島 希美	(仙台市立高砂小学校教諭)
中山 純一	(仙台市立国見小学校)
横山 清一	(気仙沼市立鹿折小学校)

◇日本語非常勤講師

山口 弘美	(非常勤講師)
内山 敦子	(非常勤講師)
鈴木 衣今子	(非常勤講師)

◇事務補佐員

中村 久美

施設

<5号館3階>

- ・センター長室
- ・客員研究室
- ・国際理解教育交流室
- ・国際理解教育演習
- ・国際理解教育機材室

<9号館4階>

- ・資料室

アクセス



仙台駅前西口バスプールの9番のりばから、市営バス「宮教大」「青葉台」行きに乗車し「宮教大前」で下車
(所要時間 約20分)。

情報コーナー

Information corner

◇講座・研究発表等の開催

2005年度

2006年度

2007年度

2008年度

2009年度

◇センターの活動

2005年前期(2005年4月～9月) 2005年後期(2005年10月～2006年3月)

2006年前期(2006年4月～9月) 2006年後期(2006年10月～2007年3月)

2007年(2007年4月～2008年3月)

2008年(2008年4月～2009年3月)

2009年(2009年4月～2010年3月)

◇データベース

国際理解教育に関するデータベース(教案・授業計画案)

- ・センター所蔵の教材・図書資料リスト
- ・「年報2005」第1号
- ・「年報2006」第2号
- ・「年報2007」第3号
- ・「年報2008」第4号

利用方法と利用者登録

How to use the center and Registration of members

センターの利用方法

Q：国際理解教育研究センターについてどのような利用のし方がありますか？

A：当センターの利用方法については、次のようなことが考えられます。

- ◆小学校英語教育、外国人児童生徒の教育についてのセミナー（国際理解教育セミナー）に参加して、情報の提供をうけたりスキルアップをはかったりする。
- ◆外国人児童生徒受け入れて、どうやってカリキュラムを組めばよいか、どう指導したらよいかなどについて相談をする。
- ◆学年でどうやって国際理解教育を企画・実施すればよいかについて相談する。
- ◆留学生を中心とした国際理解教育を実施する。（*センターから留学生を派遣する際には条件があります。）
- ◆センターから、小学校英語教育や外国人児童生徒の教育を実践している他校の先生の紹介をうける。
- ◆センターが協力校と行っている小学校英語教育の実践や、外国人児童生徒の日本語教育の実践について知る。
- ◆小学校英語や外国人児童生徒、地域定住外国人や国際理解教育をテーマとしたシンポジウムを企画する。
- ◆インターネットやテレビ会議システムを使った国際交流活動を企画する。（*条件あり）
- ◆小学校英語教育・日本語教育・国際理解教育に関する教材や図書資料の貸し出しを受ける。

利用者登録

◆利用案内

下記の手順で、御校の（国際理解教育 外国人児童生徒教育）のお手伝いをさせていただきますと存じます。ご一読頂き、不明な点などございましたら当センターまでご連絡ください。

【必要書類】 ・協力依頼書 ・協力記録書

「協力依頼書（国際理解教育 外国人児童生徒教育）」

1. どちらか希望する授業の 印 にチェックを入れてください。

空欄を埋め、当センターに返信してください。（FAX・メール共に可）

2. 内容についての打ち合わせ

3. 実施

4. 「協力記録書（国際理解教育 外国人児童生徒教育）」

終了後に、記録書下部の記入方法をご参考の上、空欄を埋めて頂き当センター宛てにメールにて返信をお願いします。（実施日から2週間以内）